



第3回 四万十映画祭「ポスター部門」コンペティション 最優秀作品が決定しました

四万十市において11月10日にJPDA（公益社団法人日本パッケージデザイン協会）会員の皆様のご協力をいただき厳正なる審査を行いました。

その結果、応募作22点の中より最優秀賞が以下の通り決定しましたので発表させていただきます。

なお、受賞作は来年3月に開催される四万十映画祭の公式ポスターとして採用され、配布の予定です。



最優秀賞

溝渕 恵里さん（高知県土佐市在住）

作品のコンセプト

「映画のワンシーンのようなビジュアルで、日本だけでなく世界へ向けてのワンシーンになる見え方の維新です。」

審査員評

「四万十らしさが感じられ、奥行きがある構図で未来への道が開かれているイメージ。第1回四万十映画祭のポスターではレッドカーペットが敷かれていたが、これは敷かれていない。なぜなら今回のコンペで賞を獲った人のみにその権利が与えられるといったメッセージも込められており、まさにこの映画祭が登竜門であることが表現されている。」